

# 第 11 回市民説明会（オープンハウス・説明会）

## 【実施概要】

### 1. 日時・場所

9月2日（土曜日） イオンモール札幌苗穂（東区）

オープンハウス 10時00分 ～ 17時00分

説明会 15時30分 ～ 16時30分

### 2. 来場者数

270人程度（内訳：オープンハウス 約250人、説明会 約20人）

### 3. 当日の様子



### 4. オープンハウスでいただいた意見

#### 〈期待の声〉

- ・応援している。
- ・北海道のスポーツを応援している。少し前までは反対だったが、内容を知るとうちに賛成に変わった。北海道の将来にとって絶対に必要だと思う。今回のパネルを見て、より強く感じる事ができた。

- ・子どもへの投資はしてほしい。夢を与えるオリパラは大賛成。
- ・大倉山にフライングヒルを造ったらよい。楽しみ。応援している。
- ・大会が来たら絶対に盛り上がるし楽しい。
- ・月寒体育館や大倉山ジャンプ場で競技を観たことがあり、すごく楽しかった。オリンピックが来たら観てみたい。

### 〈不安や懸念の声〉

- ・月寒体育館の建替えは、スケートをする子どもが減るから不要。
- ・2030年開催地の決定スケジュールに間に合うのか心配。頑張ってもらいたい。応援している。
- ・オリパラは特に必要とっていない。
- ・経費で税金が投入されないか心配だが、観てみたい気もする。
- ・学校にエアコンを設置するなど、優先することがあると思う。
- ・汚職についていくら対策を打っていると言っても、やはり同じことは起きるし、悪い印象がぬぐえない。あと5年くらいして記憶が薄れたくらいにやったらいいのでは。

## 5. 説明会でいただいた質問や意見

- ・市営住宅月寒団地について、選手村に使用することだが、使用後のリニューアル費は予算の中に入っているのか。
- ・バリアフリーが促進するというが、オリンピックのためにバリアフリーにかかる予算が増えるのか。
- ・市民サービスが十分でない状態であり、税金の使い道はオリンピック・パラリンピック以外に多々ある。
- ・広告代理店をなしにしてスポンサー収入を十分に得られるのか。
- ・一番大事なのはどのようなレガシーを残すのか、どのようなオリンピックにするのかという信念だと思う。
- ・子どもたちに、選手の育成というレガシーを残したい。
- ・リージュは長野で行うとのことだが、北海道には会場がなく、やりたくてもできない。雪国であるが会場がないからできないということにならないよう、お金をかけてでも整備すべきところは整備をするべき。
- ・会場は変更の余地がないのか。

- ・子どもたちの給食費無償化に税金を投入してほしい。
- ・月寒体育館や大倉山ジャンプ競技場は、これから競技人口が先細りすることが目に見えているにも関わらず、更新する必要があるのか。
- ・市民の生活を第一に考えてほしい。除雪の問題等具体的な話を示すべき。